

2020年3月11日
第一園芸株式会社

第一園芸の環境緑化・空間装飾ブランド 「OASEEDS (オアシーズ)」が移転後の新社屋を装飾 テーマは「伝統と革新」



第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：伊藤昇）の環境緑化・空間装飾ブランド「OASEEDS (オアシーズ)」は、2020年2月25日に移転した弊社の新オフィスの装飾をデザインいたしました。

OASEEDS は自社オフィスを空間デザインのモデルケースとして活用。社員を対象にグリーンを取り入れる効果検証を行い、更なる高品質な商品・サービスの提供を目指します。

働き方改革、健康経営といった言葉に代表されるように、近年、労働環境の改善に向けたオフィス空間への投資意識が高まりを見せています。OASEEDS が手掛ける植物を使った空間デザインは、無機質になりがちなオフィスを心地よい空間へと変えるもの。緑豊かな空間でリラックスしながら仕事に取り組むことで、ストレス軽減や知的生産性の向上が期待できる働き方のひとつとして、認知拡大を目指しています。

■装飾紹介

<エントランス>

弊社のトップデザイナー、Gérard Maas（シェラー・マース）がデザインを担当。壁面には工具を使わずフレキシブルにデザイン変更ができる Creas ディスプレイウォール※を使用しているため、季節ごとに装飾を変更し、お客様をお迎えしていきます。



※株式会社トヨダプロダクツのシステム家具「Creas(クレアス)」
使用環境に合わせた空間づくりができ、可変性・拡張性に優れたシステム家具。今回は装飾品にマグネットを組み合わせることで、簡単に貼ったり外したりできる壁面什器を採用。

<リラックススペース>

フロアを中心に位置するこちらの空間を、社員同士の共創やコミュニケーションが生まれる場となるようにフランス語で中庭を意味する「Jardin(ジャルダン)」と名付けました。

通路側には、自然の木立の中を歩いている様に感じられる演出として、マグネットタイプのグラフィックシートを貼った移動可能なカウンターブース(※)を設置し、動線を自在に変化できる空間を作りました。

※株式会社トヨダプロダクツのシステム家具「Room in Room (ルームインルーム)」

アルミ素材の支柱とビーム・木天板の組み合わせで構成されたフレームシステム。ソロワーク・ミーティングスペースなど幅広い用途や目的に合わせた空間づくりが可能。



<オフィス内>

目に入る風景に変化が出るよう、緑の濃淡や葉の形、植物の微妙な表面の質感の違いなどを考慮し観葉植物を配置。見て感じる緑の効果だけでなく、視線を遮る自然のスクリーンとしても機能を持たせるように高さや植え込みの間隔を調整しています。他にも天井のダクトレールライトを利用してハンギンググリーンを空間に配置し、オフィス全体に潤いを感じられる空間を演出しました。ハンギンググリーンには完成度の高いアーティフィシャルグリーンを利用して、軽量化と共に日々のメンテナンス作業を軽減できるよう考慮しています。



■「OASEEDS (オアシーズ)」

第一園芸株式会社の環境緑化・空間装飾ブランド。

商業施設やオフィスの屋内外の環境緑化、空間に応じたコンセプトの企画とデザイン、植栽や装飾の施工と維持管理、メンテナンスまでをワンストップで提供しています。

ブランドサイト： <https://www.daiichi-engei.jp/oaseeds/>

■第一園芸株式会社 概要

所在地：東京都品川区勝島 1 丁目 5 番 21 号 三井物産グローバルロジスティクス勝島 20 号館

代表者：代表取締役社長 伊藤昇

創業：1898 年（設立 1951 年）

資本金：4 億 8 千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

URL： <https://www.daiichi-engei.jp/>